

年間授業計画 様式例

高等学校 (1学年用) 教科

芸術 科目 美術 I

教科: 芸術

科目: 美術 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組 ~ E 組

使用教科書: (美術 1 光村図書)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	様々な事柄の中から、造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、効果的な作品制作に結び付ける力を養う。	美術の幅広い創造活動に興味を持ち、作品へ高い関心を示し、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、主体的に制作、鑑賞に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画						
1 学 期	A 単元 オリエンテーション 【知識及び技能】 美術とは何か、美術作品の評価基準とは、時代の移り変わりの中でこれからの美術の役割などを、美術 I の学習イメージを持ち、学びの意味について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、自己の意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 オリエンテーション (美術とは) ・教材等 原稿用紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえ、造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B 単元 製図 (明度表制作) 【知識及び技能】 色彩について基礎的な知識を学ぶ。正確な製図を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、制作意図に合った表現方法を創意工夫し、正確に表現を構想するのに必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 絵画・明度を中心に色の性質と製図を学ぶ。 鉛筆素描の基礎として八段階の明度表を制作する。 (丁寧で正確な作図) ・教材等 画用紙、定規、等	○	○	○	○	【知識・技能】 色の性質の理解。基礎的な正しい図形の描き方。 【思考・判断・表現】 明度表現の意図を理解し、簡単に効率よく美しい図形の描き方を創造的に発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	C 単元 絵画・素描 【知識及び技能】 形体、構図、明暗について理解し、空間を捉え立体的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 絵画 (素描・鉛筆デッサン) ・教材等 石膏模型 (立方体、円柱)、画用紙、練り消し、等	○	○	○	○	【知識・技能】 空間を構成する形体、構図、明暗など素描の要素を理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かに創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	D 単元 印象派を中心に表現とは何かを考える。 【知識及び技能】 美術とは何か、美術作品の評価基準とは、時代の移り変わりの中でこれからの美術の役割などを、学びの意味について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、自己の意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 芸術とは (印象派を中心とした美術史) ・教材等 原稿用紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の幅広い創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
2 学 期	E 単元 立体的に見える模様を描く 【知識及び技能】 形体、構図、明暗について理解し、空間を捉え立体的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の効果を考え構想を練り、主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に捉え制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 絵画 (空想イラスト) ・教材等 水性ゲルボールペン、ケント紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 形体、構図、明暗について理解する。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	F 単元 物を見て描く、想定して描く、組み合わせで描く 【知識及び技能】 素描の経験を生かし、形体、構図、明暗についてより理解を深め、空間を捉え立体的に表現しながら、模様と組み合わせ画面全体をまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 画面を作りまとめる為に、感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、丁寧な表現方法を努める。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の効果を考え構想を練り、主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に捉え、ねらいや作画意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 絵画 (静物画) (自画像) ・教材等 水性ゲルボールペン0.5黒、ケント紙、モチーフ、鏡 等	○	○	○	○	【知識・技能】 形体、構図、明暗について理解するとともに、画面全体の空間を意識して細部まで丁寧な作画に努める。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現を理解し、ペン画に有効な描写を発想し構想を練り精密に作画する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画制作の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
3 学 期	G 単元 切り絵 (切り絵の練習・立体切り絵) 【知識及び技能】 切り絵の基本的な表現技法を学び、絵画としての構図、構成を理解する。道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 切り絵の特徴を引き出す表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に捉え、ねらいや制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 テーザイン・クラフト (立体切り絵) ・教材等 カラーケント紙、カッター、マット、等	○	○	○	○	【知識・技能】 切り絵の基本的な表現方法について理解する。 【思考・判断・表現】 絵画として、空間、構図、量感などの意図を理解し、切り絵の有効な表現方法を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、切り絵制作の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	H 単元 これからの美術 【知識及び技能】 美術史を振り返り、映像メディア表現なども含めた幅広いこれからの美術について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の効果を考え構想を練り、主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に捉え、作画意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 これからの美術について考える。 ・教材等 原稿用紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の幅広い創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
											合計
											70